

〔日薬理誌, 78, 319 (1981)〕

ノイトロピン (NSP) のアレルギー反応に及ぼす影響

江田昭英, 永井博弐, 栗本芳行, 山田利光, 森 裕志, 西依 健,
稲垣直樹

Effect of neurotropin (NSP) on allergic reaction

AKIHIDE KODA, HIROICHI NAGAI, YOSHIYUKI KURIMOTO,
TOSHIMITSU YAMADA, HIROSHI MORI, TAKESHI NISHIYORI,
NAOKI INAGAKI

ノイトロピン (NSP) のアレルギー反応に及ぼす影響を検討し, 以下の成績を収めた。

1) NSP はラットの 48 hr homologous PCA を用量依存的に抑制し, 抗原による感作ラット腸間膜 mast cell の脱顆粒や感作モルモット肺切片からの histamine 遊離を抑制した。また, モルモットの実験的喘息に対しても明らかな抑制作用を示した。2) NSP はラットの馬杉腎炎における尿タンパク質量の増加や Forssman shock に対して抑制または抑制の傾向を示し, in vitro で抗補体作用を示したが, ラットの reversed cutaneous anaphylaxis に対しては影響を及ぼさなかった。3) NSP はラットの immune complex 型腎炎における尿タンパク質量の増加を抑制した。4) NSP はマウスの Pc による接触性皮膚過敏症を抑制しなかったが, IgG 前処置 nephrotoxin 腎炎における尿タンパク質量の増加に対して抑制傾向を示した。

〔アレルギー, 30, 266 (1981)〕

即時型アレルギー反応における Protein Kinase (PKase) の意義 (第1報)

—Peritoneal Exudate Cell (PEC) の PKase と脳および肝臓の

PKase との比較, ならびに Histamine 遊離との関係についての検討—

黒沢元博, 今村記明, 中田勝彦, 江田昭英

Role of protein kinase (PKase) in immediate allergic reaction.

1) Comparison of Protein Kinase in Peritoneal Exudate Cell with Those of Brain and Liver and the Relation to Histamine Release.

MOTOHIRO KUROSAWA, NORIAKI IMAMURA, KATSUHIKO NAKATA,
AKIHIDE KODA

PEC の PKase を脳および肝臓の PKase と比較検討し, さらに histamine の遊離との関係についても検討した。

1) PEC の PKase 活性は cAMP 無添加の場合には脳の約 1/2, 肝臓の約 2 倍であり, cAMP 添加の場合には脳の約 1/2, 肝臓とはほぼ同程度であった。cAMP によって PEC の PKase 活性は軽度の増大傾向を示した。2) PEC の酵素液を gel filtration すると, PKase 活性は 2 峰性を示し, 第 1 峰は第 2 峰に比して小であり, 第 1 峰の活性は cAMP によって約 2 倍に増大したが, 第 2 峰の活性には影響がみられなかった。3) 抗原による PEC からの histamine 遊離は, 1 分後に最大となり, PKase 活性は 10 分後に増大傾向を示した。

PEC 中には PKase が存在し, 主として遊離型の PKase として存在するものと思われる。また, PKase は histamine 遊離後の修復過程に関与するように思われる。